



～和牛子牛市場上場に向けての留意点～

1 市場上場時の発育目標値

去勢子牛は、日齢 **270日**・体高 **118cm**・体重 **300kg**

雌子牛は、日齢 **270日**・体高 **115cm**・体重 **280kg**

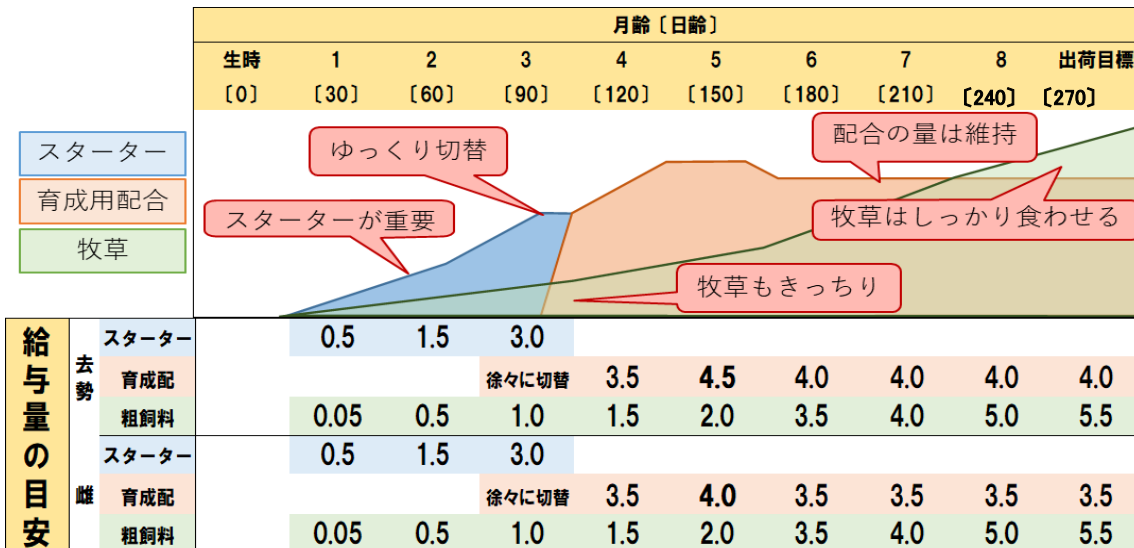
を目指しましょう。

発育の確保には、生後3か月までが特に重要です。清潔・乾燥を保ち、冷えによるロスや疾病を予防しましょう。

また、生後5か月齢前後は骨格が最も発達する時期です。この時期に配合飼料をピーク（去勢**4.5kg**、雌**4.0kg**）とし、前半の5か月齢までは濃厚飼料メインで、後半の6か月齢からは良質粗飼料メインで、しっかりした骨格と腹作りをして、購買者へバトンタッチしましょう。

【子牛育成期の飼料給与】 ～「岩手県肉用牛飼養管理マニュアル」から～

育成期間中、牛は大きく成長します。骨格、内臓ともにこの期間に成長の7割が集中します。粗飼料主体の給与で内臓を十分に発達させます。粗飼料は不断給餌とし、第1胃が出来上がる6か月齢迄は栄養価が高く軟らかめの乾草を、7か月齢以降は硬めの粗飼料を給与して第1胃の筋肉層の発達を促します。配合飼料は、採食状況をよく観察し、発育段階に必要なとされる量を給与します。なお、スターターから育成用配合飼料への切替えは、2週間程度かけて徐々に行います。骨を作るためにはCa、Pなどのミネラルが必要です。また、セレン等微量成分を含む鋳塩も与えましょう。



「岩手県肉用牛飼養管理マニュアル」のダウンロードはこちら↓



1日当たりの給与量の目安 (kg)

図 和牛子牛の飼料給与量の目安(宮古地方肉用牛飼養管理マニュアル(2024.03)を編さん)

2 市場上場に向けた留意点

(1) 上場の準備

子牛は「商品」です。購買者のためにも、しっかりと「商品づくり」をしましょう。

- ① 子牛を繋いで手入れ・ブラッシングをこまめにすることにより人や繋がれることに馴れさせます。
- ② 削蹄は市場1か月前頃には実施し、市場当日には、しっかりした立ち姿・歩様で上場します。
- ③ 市場前日までに牛体の汚れを落としましょう。
- ④ 市場当日の鼓張症等のリスクを低減させる為に、濃厚飼料を給与せずに輸送・上場します。

そのためにも、上場1週間前から濃厚飼料は徐々に減らして準備します。

粗飼料を十分に食べた肋張り良好な牛を上場しましょう。

(2) 市場当日の繋ぎ方

同じ牛でも、繋ぎ方で見え方（見た目）が全然違います。体上線が平直になる様に繋ぎましょう。

下見のしやすさや、作業性・安全性の確保にも有効です。



×：柵の下の管に繋がれている
×：頭が下がり、姿勢悪い

○：上の管に繋ぐ
○：正姿勢（眼と「き甲部」が水平